

【全体概要】

愛知県内の冬春キュウリ産地では、環境モニタリングデータを活用した環境制御が行われている。民間のICT企業が開発した土壌水分モニタリングセンサーを活用し、地上部と地下部両方の環境制御技術を高度化し、生産性の向上を図る。

新品種・新技術等の概要

「土壌水分モニタリングセンサー」

開発者：(株)IT工房Z(名古屋市中区)

開発年：2018年2月

特 徴：

- ①土壌水分状態がモニタリングできる。
- ②環境モニタリングシステム「あぐりログ」に接続し、クラウドを利用してスマホやPCでデータを確認、収集、蓄積できる。
- ③モニタリングデータは仲間同士で共有可能。

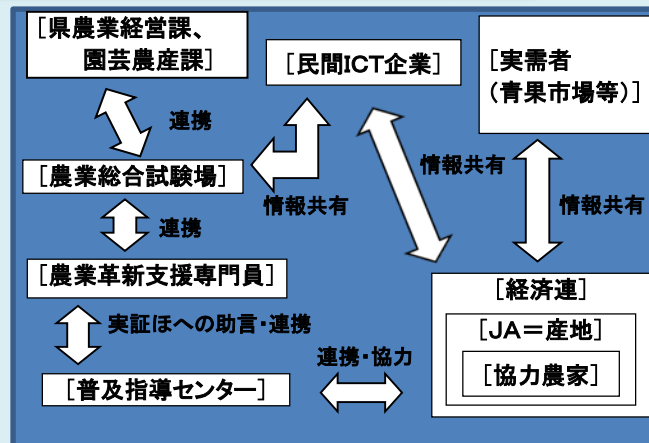


土壌水分モニタリング
センサー

主な取組内容

- 農業革新支援センター、普及指導センター、JA、生産者団体が連携し、「土壌水分モニタリングセンサー」を活用して、以下の取組を施設キュウリ2産地で行った。
- 実証ほの設置と地下部環境のモニタリング、生育診断のための生育・品質・収量調査を実施
 - 取組の高度化を図るための先進事例調査
 - 産地と実需者との意見交換
 - 土壌水分モニタリングセンサー改善のための産地とICT企業との情報交換

実施体制図



・農業革新支援専門員は、普及指導センター、試験場と連携し、実証試験への助言や支援を実施。

・協力農家は、実証ほの栽培管理とICT機器の管理を行う。

・普及指導センターは産地と連携、協力し実証ほの調査を行う。

課題と今後の対応

【取組の結果】

- 実証ほの設置と地下部環境モニタリング、生育・収量調査の実施
土壌水分モニタリングデータと生育・収量データの関連付けを行っている。
- 県外先進事例調査
佐賀県等の環境制御技術について先進事例調査を行い、日射比例かん水などのかん水管理技術を学んだ。

【今後の対応】

- 平成30年度の実証結果を踏まえ、令和元年度の実証を行い、環境制御技術を高度化する。
- 土壌水分モニタリングセンサーを活用した環境制御マニュアルの作成。